

一般社団法人北海道農業法人協会 第29回会員総会 議案第1号
令和5年度事業報告及び収支決算の承認について

別紙、令和5年度事業報告及び収支決算について承認を求める。

以上提出する。

令和6年 2月21日

一般社団法人北海道農業法人協会
代表理事会長 小椋 幸男

令和 5 年度 事業 報告

農業をめぐる情勢

令和 5 年の本道の気象は、気温がほぼ年間を通じて平年を上回って推移し、多くの農作物の生育は平年より早く進みました。最高気温が 30℃以上の「真夏日」の連続観測日数が 44 日間と過去最高の 30 日間を大きく更新する猛暑の夏となり、このことにより、白未熟粒の発生による一等米比率の低下や褐斑病の多発等によるてん菜の平均糖分の低下、一部の野菜の発育不良や変形など、品目により品質や収量に大きな問題が生じたほか、家畜の体調の悪化を招き、酪農において生乳生産量が減少するなど、本道の農業生産に広く影響が生じた年となりました。

農業経営をめぐるのは、世界的な穀物需給のひっ迫や原油価格の上昇などから、高騰していた飼料や肥料、燃油等をはじめとする生産資材の価格は、ウクライナ情勢の長期化や円安基調の継続などにより高止まりし、生産者は高いコスト負担を余儀なくされているほか、コロナ禍等により需給事情に多大な影響が生じた生乳やてん菜等において、生産抑制の取組が進められ、これまで生産性や品質の向上に向けて努力を重ねてきた酪農経営など本道の生産者が、その力を十分に発揮することが困難な状況が続いています。

また、水田農業においては、半世紀にわたり続けられている、国における転作の助成措置、水田活用の直接支払交付金の交付対象水田等の見直しが進められていますが、畑地化促進事業の予算枠などの問題もあり、その対応に混乱も生じる中、地域や生産者においては、持続可能な水田農業の将来像の明確化が必要とされており、大きな岐路に立たされている状況にあります。

このように本道農業が難しい環境に置かれる一方で、世界の食料需給等をめぐるリスクの顕在化に伴い、国産食料・国内農業の重要性について理解が深まるとともに、SDGs や地球温暖化等への対応として農業における環境負荷低減の取組が一層大切になってきており、国における中・長期の農政の基本的な方向性を示す「食料・農業・農村基本法」の見直しにおいても、とりわけ食料安全保障の確立や環境等に配慮した持続可能な農業への転換などを基本理念に、法改正や施策の具体化に向けた検討が進められています。

こうした国民の期待に応える農業、持続可能な農業経営は、我が国における食料の安定供給に重要な役割を担う北海道が先頭に立って実現していかなければなりません。そのためには、行政や関係団体等の支援・協力も得ながら、地域農業を担う生産者が、これまで培ってきた高い技術力と経営管理能力、さらには、そのネットワークを最大限に生かし、経営環境の変化に適切に対応していくことが必要です。

当協会においても、本道農業、生産者にとって重要な情報を収集・共有し、酪農部会や水田部会なども活用しながら、課題の解決に向けて引き続き全力で取り組んでいくことが求められています。

活動フラッシュ！

■第28回定期総会&農業法人経営セミナー2023

令和5年2月28日（火）、ANAクラウンプラザホテル札幌にて、第28回一般社団法人北海道農業法人協会会員総会を開催いたしました。

会員総会では、令和4年度事業報告として一年間の活動報告を行った後、コロナと付き合いながらセミナー等より多くの活動をしていく旨の説明が南会長よりなされ、すべての議案が承認されました。そして南会長が諸事情により本総会を持って会長をおられると言うことで、任期の残りを有限会社ドリームヒルの小椋幸男代表が引き受けることとなりました。



農業法人経営セミナー2023は株式会社ファームサイドの佐川友彦氏をお迎えし「農業改善で実現するこれからの農業経営」というテーマで、農業者とは違う目線から、農業経営に関しての問題提起、それに伴う答えの導き方をご教授いただきました。

■連携活動 公益社団法人日本農業法人協会

道協会は今年北海道東北農業法人WEEKの当番県となり3日間に渡り開催をいたしました。1日目のメイン講演では「未来を切り拓く 北海道の食品メーカーの挑戦～存続と発展のために～」をテーマに北海道を代表する食品メーカー、株式会社アイビック食品 代表取締役社長の牧野克彦氏をお呼びして、世間とは逆行する形の施設に対する投資や、今すぐ働きたくなるような福利厚生など、幅広く話をお聞かせいただきました。2日目は帯広に場所を移し「第35回国際農業機械展 in 帯広 2023」を視察、3日目は江別市の株式会社Kalm 角山にて最新鋭の酪農について、株式会社輝楽里では先進的近郊農業について学びました。来年のWEEKは秋田県にて開催を予定しております。

その他日本農業法人協会主催の春季・夏季セミナーや次世代農業サミットに参加して、全国各地の農業者との交流を積極的に行っております。



■部会活動

水田部会は例年通り農林水産省北海道農政事務所、北海道農政部、ホクレン農業協同組合連合会、北海道農産物集荷協同組合にご参集いただいたの意見交換会を複数回行っております。そして初めて試みとして講師を呼ぶ形で、茨城県から株式会社百笑市場 代表取締役 長谷川有朋氏を招いての輸出セミナーを行いました。

酪農部会も例年通り複数回意見交換を行いました。道農政部長や、農林水産省の調整官や担当課長となど例年とは違った形で、会員の現状や意見を伝える場所を、札幌だけでなく地方でも設けました。その他にも日本農業法人協会の酪農研究会にも積極的に参加し、北海道の意見を積極的に反映するような活動をしています。両部会とも意見や要望を中央にあげる活動も引き続き実施していきたいと考えます。



■セミナー事業の取組み

昨年に続き、リアルとオンライン両方でのセミナー活動を開催しました。改めてオンラインの便利さと、リアルで会うことの大切さ、その場所を提供することの重要性を考えさせられる年となりました。(詳細は後ページの「3 セミナー、研究会、地域ネットワーク等連携活動」をご参照ください)

北海道次世代農業サミットも第5回目となりました。令和5年12月18日(月)、三重県の株式会社浅井農園代表取締役、浅井雄一郎氏を講師にお招きし、全道各地より農業者や関係機関から100名を超える方にご参加いただき、ホテル札幌ガーデンパレスにて「安売りしない農業—生産者が考える適正価値—」をテーマに開催しまし



た。メイン講演では自分たちでできる価値の上昇や、異業種との連携など、農業者だけでなくその他の企業においても参考になる経営についてお話いただきました。サミット後半では、パネラーに株式会社 atLOCAL の堀田悠希さん、有限会社パインランドデーリィの松村孟さん、コーディネーターに株式会社食農夢創の仲野真人さんをお迎えし、パネルディスカッションしていただき、それを受けて農業者が班に分かれてグループディスカッションを行い、最後にグループより代表を一人ずつ出して発表いただきました。それぞれ活発な意見を発表し、会場は終始熱気にあふれておりました。

会務・活動報告

1 会員 (令和5年12月31日現在)

(1) 正会員 : 287 法人

(2) 賛助会員 : 3 法人

一般社団法人北海道農業会議 公益財団法人北海道農業公社 一般財団法人 HAL 財団

(3) 北海道農業サポータークラブ会員 : 66 社

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. JA 三井リース 株式会社 | 34. 三井住友ファイナンス&リース 株式会社 |
| 2. 株式会社 北洋銀行 | 35. 共栄火災海上保険 株式会社 |
| 3. 株式会社 アグリドック | 36. 株式会社 ノースブランズ |
| 4. 株式会社 ノマド | 37. 税理士法人 薄井会計 |
| 5. ピーエス 株式会社 | 38. 株式会社 マイナビ |
| 6. 株式会社 北海道協同組合通信社 | 39. 日産化学 株式会社 |
| 7. 明治飼糧 株式会社 | 40. 税理士法人 小島会計 |
| 8. 株式会社 北海道アルバイト情報社 | 41. 株式会社 安藤通商 |
| 9. 株式会社 北海道銀行 | 42. アンビシャス総合法律事務所 |
| 10. 株式会社 サン格林太陽園 | 43. 株式会社 ワイザー総研 |
| 11. 株式会社 丹波屋 | 44. SucSeed 株式会社 |
| 12. シンジェンタジャパン 株式会社 | 45. 株式会社 大学農園 |
| 13. 株式会社 ノザワ フラノ事業所 | 46. 石屋製菓 株式会社 |
| 14. 日本曹達 株式会社 | 47. 第一生命保険 株式会社札幌総合支社 |
| 15. 税理士法人 池脇会計事務所 | 48. 第一生命保険 株式会社 |
| 16. 北海道日紅 株式会社 | 49. 株式会社 トーモク |
| 17. ファームエイジ 株式会社 | 50. ホクレン農業協同組合連合会 |
| 18. 松田孝志税理士事務所 | 51. 第一生命保険 株式会社 |
| 19. 菱中産業 株式会社 | 52. 株式会社 愛農 |
| 20. 株式会社 GB 産業化設計 | 53. 甘彩六花 株式会社 |
| 21. ホシザキ北海道 株式会社 | 54. アイケイ工事株式会社 |
| 22. 株式会社 日の丸産業社 | 55. 王子コンテナ 株式会社 |
| 23. 税理士法人 アンビシャス・パートナーズ | 56. ユアサ商事 株式会社 |
| 24. 株式会社 浜口微生物研究所 | 57. 株式会社 須田製版 |
| 25. 株式会社 カナテック | 58. 東京海上日動火災保険 株式会社 |
| 26. 北海道信用農業協同組合連合会 | 59. 株式会社 旭創 |
| 27. 農林中央金庫 札幌支店 | 60. BASF ジャパン 株式会社 |
| 28. 株式会社 コハタ | 61. 株式会社 日本旅行北海道 |
| 29. クミアイ化学工業 株式会社 | 62. 株式会社 バイオマスソリューションズ |
| 30. 日本農薬 株式会社 | 63. 北海道エア・ウォーター・アグリ 株式会社 |
| 31. 東北容器工業 株式会社 | 64. 株式会社 フェイガー |
| 32. 医療法人 共生会 川湯の森病院 | 65. 株式会社 タイミー |
| 33. ロイヤルインダストリーズ 株式会社 | 66. フルタ電機 株式会社 |

2 会議の開催

(1) 総会及び法人経営セミナー

1) 第 28 回会員総会

- 開催 日：令和 5 年 2 月 28 日
- 場 所：ANA クラウンプラザホテル札幌
- 出席 者：〔正会員〕 285 社中 38 社出席 委任状議決権行使届出書 140 通
- 協議事項：①令和 4 年度事業報告及び収支決算の承認について
②令和 5 年度事業計画（案）及び収支予算（案）の設定について
③令和 5 年度会費の賦課及び徴収方法について

2) 農業法人経営セミナー2023

- タイトル：「農業改善で実現するこれからの農業経営」
- 講 師：株式会社ファームサイド 佐川友彦氏

(2) 理事会

1) 第 1 回

- 開催 日：令和 5 年 1 月 27 日
- 場 所：かでの 2・7（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）／ZOOM
- 主な協議事項：第 28 回総会・セミナー開催について

2) 第 2 回

- 開催 日：令和 5 年 2 月 28 日
- 場 所：ANA クラウンプラザホテル札幌（札幌市中央区北 2 条西 1 丁目）
- 主な協議事項：理事・監事の選任について

3) 第 3 回

- 開催 日：令和 5 年 3 月 1 日
- 場 所：ネストホテル札幌駅前（札幌市中央区北 2 条西 2 丁目）
- 主な協議事項：各担当役員・今期事業について

4) 第 4 回

- 開催 日：令和 5 年 3 月 22 日
- 場 所：札幌駅前ビジネススペース（札幌市中央区北 5 条西 6 丁目）／ZOOM
- 主な協議事項：今季事業、主に WEEK について

5) 第 5 回

- 開催 日：令和 5 年 5 月 27 日
- 場 所：かでの 2・7（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）／ZOOM
- 主な協議事項：会費等経理関係、今期 WEEK について

6) 第 6 回

- 開催 日：令和 5 年 8 月 17 日
- 場 所：かでの 2・7（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）／ZOOM
- 主な協議事項：WEEK 反省、下半期事業について

7) 第 7 回

- 開催 日：令和 5 年 11 月 9 日
- 場 所：北海道建設会館（札幌市中央区北 4 条西 3 丁目）／ZOOM
- 主な協議事項：役員選考進捗等、今期の締め方と来期に向けて

(3) 会長・副会長・事務局会議

1) 第1回

○開 催 日：令和5年1月11日

○場 所：北海道農業法人協会事務局（札幌市中央区北2条西2丁目4 マルホビル8階）

○主な協議事項：次年度予算・理事会準備

2) 第2回

○開 催 日：令和5年5月22日

○場 所：北海道農業法人協会事務局（札幌市中央区北2条西2丁目4 マルホビル8階）

○主な協議内容：理事会・WEEKについて、事務所移転問題

3) 第3回

○開 催 日：令和5年8月10日

○場 所：北海道農業法人協会事務局（札幌市中央区北2条西2丁目4 マルホビル8階）

○主な協議内容：理事会、新事務所について

4) 第4回

○開 催 日：令和5年10月10日

○場 所：帯広市

○主な協議内容：理事会準備・下半期事業・新体制について

5) 第5回

○開 催 日：令和5年12月23日

○場 所：北海道農業法人協会事務局（札幌市中央区北2条西2丁目4 マルホビル6階）

○主な協議内容：事業報告、新年度事業計画、総会について

(4) 担当役員会

1) 次世代・セミナー・オンライン委員会

i) ○開 催 日：令和5年3月9日

○場 所：オンライン（ZOOM）

2) 総会・WEEK 担当役員会

i) ○開 催 日：令和5年3月13日

○場 所：オンライン（ZOOM）

3) 役員選考委員会

i) ○開 催 日：令和5年7月28日

○場 所：オンライン（ZOOM）

ii) ○開 催 日：令和5年11月6日

○場 所：オンライン（ZOOM）

iii) ○開 催 日：令和5年12月22日

○場 所：オンライン（ZOOM）

4) 女性活動推進委員会

○開 催 日：令和5年10月18日

○場 所：オンライン（ZOOM）

※各担当委員会は上記と別に各理事会前に付属で必ず開催

3 セミナー、研究会、地域ネットワーク等連携活動

(1) のぶし経営塾等

1) 第1回ののぶし経営塾「農林水産省との意見交換会」

○開催日：令和5年1月12日

○場所：オンライン（Teams）

2) 第2回ののぶし経営塾「HACCP セミナー」【共催】

○開催日：令和5年1月24～26日

○場所：かでる2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）

○主催：株式会社 SucSeed

3) 第3回ののぶし経営塾「女性リーダーの話を聴く会 ―農業を通じた女性が輝く社会―

○開催日：令和5年1月26日

○場所：札幌駅前ビジネススペース（札幌市中央区北5条西6丁目）／オンライン（ZOOM）

○講師：ウーマンメイク株式会社 代表取締役 平山 亜美 氏（大分県）

○共催：一般財団法人 HAL 財団

4) 第4回ののぶし経営塾「大地の侍 上映会」【共催】

○開催日：令和5年3月1日

○場所：ネストホテル札幌駅前（札幌市中央区北2条西2丁目）

○主催：一般財団法人 HAL 財団

5) 第5回ののぶし経営塾「酪農政策に関する農林水産省との意見交換会」

○開催日：令和5年6月2日

○場所：十勝農協連ビル（北海道帯広市西12条南6丁目）

6) 第6回ののぶし経営塾「コメ輸出に関わるセミナー」

○開催日：令和5年6月17日

○場所：北海道道特会館（札幌市中央区北2条西2丁目）

○講師：株式会社 百笑市場 代表取締役 長谷川 有朋 氏（茨城県）

7) 第7回ののぶし経営塾「コメの現状と政策課題 意見交換会」

○開催日：令和5年7月26日（月）

○場所：かでる2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）

8) 第8回ののぶし経営塾「乳価の仕組みと乳代精算書の見方について」【共催】

○開催日：令和5年8月29日

○場所：十勝農協連ビル（北海道帯広市西12条南6丁目）

○共催：十勝酪農法人会

9) 第9回ののぶし経営塾「農林水産省との意見交換会」

○開催日：令和5年10月5日

○場所：北海道農政事務所（札幌市中央区南22条西6丁目）

10) 第10回ののぶし経営塾「財務経理集中講座」

○開催日：令和5年11月15～17日

○場所：十勝農協連ビル（北海道帯広市西12条南6丁目）

○共催：一般財団法人 HAL 財団

11) 第11回ののぶし経営塾「コメの現状と政策課題 意見交換会」

○開催日：令和5年11月21日

○場所：かでる2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）

12) 第5回北海道次世代農業サミット

○開催日：令和5年12月18日

○場所：ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区北1条西6丁目）

○共催：一般財団法人 HAL 財団

(2) 地域団体・ネットワーク活動

1) 上川管内農業法人ネットワーク「特別研修会」

○開催日：令和5年3月3日

○場所：花月会館（旭川市3条7丁目）

○講師：有限会社営農企画 取締役専務 今城 正春 氏
株式会社GB産業化設計 代表取締役 岩井 宏文 氏

2) 上川管内農業法人ネットワーク「現地研修会」

○開催日：令和5年8月31日

○場所：株式会社うけがわファーム DEN-EN・東神楽温室園芸

4 交流活動

(1) 国内外交流研修会

1) 道内交流研修会：『上川』（上川農業法人ネットワークと共催）

○開催日：令和5年8月31日

○場所：株式会社うけがわファーム DEN-EN・東神楽温室園芸

○参加者：58名

2) 国内交流研修会：『福岡・佐賀』

○開催日：令和5年11月26～29日

○場所：久保田農園・豊地の郷・麻生園芸・平田園芸・フェルマ木須
伊万里グリーンファーム・伊都菜彩 他

○参加者：21名

3) 国外交流研修会：未開催

5 専門活動

(1) 酪農部会

1) 第6回総会

○開催日：令和5年3月1日

○場所：ネストホテル札幌駅前（札幌市中央区北2条西2丁目）

2) 北海道農政部との意見交換会

○開催日：令和5年8月30日

○場所：道庁農政部（札幌市中央区北3条西6丁目）

(2) 水田部会

1) 第4回総会

○開催日：令和5年6月17日

○場所：北海道道特会館（札幌市中央区北2条西2丁目）

※意見交換会はのぶし経営塾の欄を参照

6 連携推進活動

(1) 公益社団法人日本農業法人協会

1) 総会・セミナー

i) 春季セミナー

○開催日：令和5年3月16・17日

○場所：AP 日本橋

○講演：「今後の食料・農業情勢と日本農業のあるべき姿～農業法人の果たすべき役割とは～」
東京大学副学長 農林水産省 食料・農業・農村政策審議会会長 大橋 弘 氏
「危機から脱出！元専業主婦の経営戦略とは？～絶滅危惧種ハンバーガーチェーン
復活のストーリー～」株式会社ドムドムフードサービス 代表取締役 藤崎 忍 氏

○分科会：農福連携・みどりの食料システム戦略／酪農研究会

ii) 第45回総会・夏季セミナー

※北海道協会より川口谷理事、全国卒にて日本協会理事に就任

○開催日：令和5年6月15・16日

○場所：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター（東京都新宿区市谷八幡町8番地）

○講演：「中小企業が生き抜くための経営改革と人財育成～DX戦略と社員の意識改革で業績を
回復させた町工場の挑戦～」ダイヤ精機株式会社 代表取締役 諏訪 貴子 氏

○分科会：政策・マーケティング／酪農研究会

2) 全国次世代農業サミット

i) 第10回

○開催日：令和5年2月20・21日

○場所：沖縄コンベンションセンター（沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1）

○テーマ：「攻めの農業の資金調達」「地域資源の活用と投資」

○講演：株式会社もとぶ牧場 代表取締役社長 坂口 泰司 氏 他

ii) 第11回

○開催日：令和5年7月11・12日

○場所：福島スパリゾートハワイアンズ（サミット）／福島県内（視察）

○講演：「農業経営を取り巻く環境変化にどう対応するか？震災と復興の地、福島で考える」
うつくしまふくしま農業法人協会会長 株式会社なかた農園 中田幸治氏

○事例発表：有限会社まるせい果樹園 業務部長 佐藤ゆきえ氏

○視察：福島県内農場、関連施設 その他福島第一原子力発電所等

3) 都道府県会長会議および担当者会議

i) 第27回都道府県会長会議

○開催日：令和5年2月16日

○場所：ZOOM

ii) 都道府県農業法人組織事務局担当者会議

○開催日：令和5年4月26日

○場所：主婦会館プラザエフ（東京都千代田区六番町15）

iii) 第28回都道府県会長会議

○開催日：令和5年5月26日

○場所：ZOOM

4) 北海道東北ブロック連携

i) 北海道東北ブロック会議

○開催日：令和5年1月30日

○場所：オンライン

ii) 北海道東北農業法人 WEEK2023in ほっかいどう

○開催日：令和5年7月5～7日

○場所：ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区北1条西6丁目）・帯広市・江別市

○テーマ：コロナ禍の先へ繋ぐ、変化に適応した新時代の農業経営の実践を目指して

○講演：「～食の未来は自分たちで切り拓く 先進企業から学ぶ～」

アイビック食品株式会社 代表取締役社長 牧野克彦氏

○事例報告：有限会社ファームトピア 代表 走出邦章氏

○視察：【展示会】第35回国際農業機械展（帯広市）

【酪農】株式会社 Kalm 角山（江別市）

【田畑園芸】株式会社輝楽里（江別市）

(2) 行政機関・その他

1) 北海道農業・農村振興審議会

i) 令和4年度 第2回

○開催日：令和5年1月30日

○場所：ANA クラウンプラザホテル札幌（札幌市北区北2条西1丁目）

ii) 令和5年度 第1回

○開催日：令和5年8月28日

○場所：TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前（札幌市北区北4条西6丁目）

2) 北海道農業再生協議会

i) 第1回通常総会

○開催日：令和5年7月21日

○場所：道庁7階農政部（札幌市中央区北3条西6丁目）

3) 北海道地域農業特定技能協議会

i) 運営委員会

○開催日：令和5年7月28日

○場所：道庁7階農政部（札幌市中央区北3条西6丁目）

4) 農業経営サポート事業

i) 事業推進連絡会議

○開催日：令和5年3月22日（水）

○場所：札幌駅前ビジネススペース（札幌市中央区北5条西6丁目第二道通ビル）

ii) 農業経営相談所戦略会議

令和4年度第8回

○開催日：令和5年1月25日

○場所：札幌駅前ビジネススペース（札幌市中央区北5条西6丁目第二道通ビル）

令和4年度第9回

○開催日：令和5年2月22日

○場所：札幌駅前ビジネススペース（札幌市中央区北5条西6丁目第二道通ビル）

iii) 北海道農業経営・就農支援センター運営／経営戦略会議

○場 所：札幌駅前ビジネススペース（札幌市中央区北 5 条西 6 丁目第二道通ビル）

○開 催 日：

令和 5 年度第 2 回運営会議及び第 1 回経営戦略会議	令和 5 年 4 月 26 日
令和 5 年度第 3 回運営会議及び第 2 回経営戦略会議	令和 5 年 5 月 18 日
令和 5 年度第 4 回運営会議及び第 3 回経営戦略会議	令和 5 年 6 月 21 日
令和 5 年度第 5 回運営会議及び第 4 回経営戦略会議	令和 5 年 7 月 19 日
令和 5 年度第 6 回運営会議及び第 5 回経営戦略会議	令和 5 年 8 月 23 日
令和 5 年度第 7 回運営会議及び第 6 回経営戦略会議	令和 5 年 9 月 20 日
令和 5 年度第 8 回運営会議及び第 7 回経営戦略会議	令和 5 年 10 月 25 日
令和 5 年度第 9 回運営会議及び第 8 回経営戦略会議	令和 5 年 11 月 22 日
令和 5 年度第 10 回運営会議及び第 9 回経営戦略会議	令和 5 年 12 月 20 日

(3) 事業協賛

1) 創地農業 21（ファームエイジ）

第 45 回グラスファーマーミングスクール

『持続的な酪農経営のためには何が必要か』

○開 催 日：令和 5 年 8 月 30・31 日

○場 所：新ひだか町 小泉牧場

(4) 事業後援、協力

1) 後援 『J A グループ北海道 農業経営フォーラム つなぐ 農業の今と未来』

○開 催 日：令和 5 年 11 月 14 日

○主 催：北海道信用農業協同組合連合会

○場 所：共済ホール（札幌市中央区北 4 条西 1 丁目）

2) 協力 日本フードサービス協会 産地見学商談会

○開 催 日：令和 5 年 8 月 29・30 日

○場 所：【視察】十勝管内農場・農協施設等

【商談会】北海道ホテル（北海道帯広市西 7 条南 1 9 丁目 1）

令和5年収支決算

自 令和 5年 1月 1日
至 令和 5年12月31日

貸借対照表

令和 5年 12月 31日 現在

		(単位：円)	
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	14,359,745	12,964,822	1,394,923
未収金	500,000	1,070,000	△ 570,000
前払費用	0	0	0
立替金	0	0	0
流動資産合計	14,859,745	14,034,822	824,923
2. 固定資産			0
(1) 基本財産			0
基本財産合計		0	0
(2) 特定資産			0
特定資産合計		0	0
(3) その他固定資産(敷金)			0
その他固定資産合計	330,000	0	330,000
固定資産合計	330,000	0	330,000
資産合計	15,189,745	14,034,822	1,154,923
II 負債の部			0
1. 流動負債			0
未払金	0	0	0
未払費用	0	0	0
前受金	180,000	160,000	20,000
預り金	0	0	0
仮受金	130,000	100,000	30,000
リース債務	0	0	0
賞与引当金	0	0	0
流動負債合計	310,000	260,000	50,000
2. 固定負債			0
固定負債合計		0	0
負債合計	310,000	260,000	50,000
III 正味財産の部			0
1. 指定正味財産		0	0
2. 一般正味財産	14,879,745	13,774,882	1,104,863
正味財産合計	14,879,745	13,774,882	1,104,863
負債及び正味財産合計	15,189,745	14,034,882	1,154,863

※未収金は未納会員、または納入せず退会した会員の会費です

正味財産増減計算書

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	8,870,000	8,710,000	160,000
賛助会員受取会費	300,000	300,000	0
HSC会員受取会費	3,449,340	3,400,000	49,340
補助金収入			0
民間助成金収益	4,898,390	2,906,345	1,992,045
雑収益			0
雑収益	11,647	111	11,536
セミナー事業収益	1,471,610	1,218,324	253,286
特別収益	609,750	0	609,750
経常収益計	19,610,737	16,534,780	3,075,957
(2) 経常費用			0
管理費			0
役員報酬	0	0	0
給料手当	5,995,080	7,123,679	△ 1,128,599
法定福利費	234,030	543,275	△ 309,245
旅費交通費	541,003	582,405	△ 41,402
通信運搬費	861,051	527,339	333,712
消耗印刷備品費	316,932	122,534	194,398
賃借料	632,230	132,000	500,230
租税公課	81,050	81,200	△ 150
会議費	2,637,838	2,000,499	637,339
雑費	113,891	158,043	△ 44,152
委託費	462,373	617,870	△ 155,497
貸倒損失	710,000	0	710,000
管理費計	12,585,478	11,888,844	696,634
事業費			0
支払助成金	50,000	270,000	△ 220,000
オンライン推進活動費	322,110	555,610	△ 233,500
酪農部会活動費	10,000	275,700	△ 265,700
水田部会活動費	156,420	424,529	△ 268,109
政策提言活動費	72,620	0	72,620
情報活動費	14,000	60,684	△ 46,684
連携推進費	1,466,399	194,646	1,271,753
セミナー活動費	3,828,847	2,502,518	1,326,329
事業費計	5,920,396	4,283,687	1,636,709
経常費用計	18,505,874	16,172,531	2,333,343
評価損益等調整前当期経常増減額	1,104,863	362,249	742,614
当期経常増減額	1,104,863	362,249	742,614
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,104,863	362,249	742,614
当期一般正味財産増減額	1,104,863	362,249	742,614
一般正味財産期首残高	13,774,882	13,412,633	362,249
一般正味財産期末残高	14,879,745	13,774,882	1,104,863
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額		0	0
指定正味財産期首残高		0	0
指定正味財産期末残高		0	0
III 正味財産期末残高	14,879,745	13,774,882	1,104,863

監査報告

令和5年度北海道農業法人協会の会計収支について、その内容を監査した結果、その
使途、帳簿、証拠書類等、適正であると認める。

令和 6年 1月12日

監事

斎藤ファーム

斎 藤 雅 紀

監事

農事組合法人 シレトコイオン生産組合

弦 間 秀 子